

今、教育委員は！

平成 27 年 3 月

教育委員長職務代理者 増田友厚

桜の開花のたよりが各地から届く好時節となり、学校でも別れと旅立ちのときを迎えています。それは、また、まとめとスタートの時でもありましょう。子供も大人も皆、毎日を懸命に生きています。人知れず考え、苦勞し、努力し、困難に耐え切り開いて進みます。お互いにそれらの歩みの過程を丁寧に振り返り、まず、讃えるべきところを讃え合い、ねぎらうべきところをねぎらい合い、その上で力強い新たな一歩を踏み出したいものです。

【教育委員会の動き】

1 各小学校、中学校その他の学校で卒業式が挙行されました。

市内では、3月14日は小学校1校、18日は小学校10校、中学校2校、19日は小学校5校、中学校2校で卒業証書授与式が行われました。どの学校でも、子供たちと先生方が、この佳き日のために準備を重ね、堂々と卒業証書を受ける子供たちの凛々しい姿が印象的でありました。喜びの保護者の皆さんと子供たちを見守って下さる地域の皆さんのご臨席の中、各学校がその特色をいかし、呼びかけあり合唱ありと心のこもった式となりました。



〔岩村田小学校卒業式後の分離式〕

この日、各学校では、離任と退職の先生方とのお別れの式典が持たれました。ご尽力に感謝申し上げます。今後のご健勝をお祈りいたします。

お忙しい3月でしょうが、各ご家庭で、子供たちを囲み、歩んできた道程を振り返り、その努力を讃え、辛かったことや切なかったことなど、大きく頷きながらじっくり聞き受けたいものです。

2 佐久市不登校等対策協議会より本年のまとめの報告がありました。

昨年、学校を応援する視点から、4項目目の提案がなされました。(i. 各学校の方針や組織の見直しと早期の気付き ii. その子が安心でき、手をかけ、目をかけ、声をかけ易い場の確保 iii. 各種機関とのつながりを大切に iv. 子供たちへ理解をすすめる)。

本年の報告では、項目ごとに、進展の手応えを感じながら、各学校が取り組んできた工夫や努力の一端を紹介し、自校の取り組みが更に綿密なものとなるように提案しています。更に、報告では、新たに私たち大人や保護者そして、広く子供たちみんなに期待することが加えられました。その中から何点かご紹介いたします。

① 小さいころから、「人と人との関係づくり」の力を育てる。

・幼児期から、心身を使ってみんなと一緒に遊び、関係づくりを学ぶ。



目次

1 学校の方針や組織の見直しと早期気付き <チーム連携づくり>	p02
2 その他の課題解決策の検討 <卒業後・目覚め・再会>	p05
3 危機管理に備えた対応 <つらがりもあつめ>	p08
4 児童生活支援の充実 <児童生活の豊かさと安心感>	p13
5 その他 <保護者や児童生活への呼びかけ等>	p16
6 不登校対策 連携支援マップの取組事例	p18

佐久市不登校等対策協議会

- ・トラブルは好まないが、大人の安易な解決より、解決の方策を学び合いたい。
- ・「しつけ」等の厳しさも必要であるが、「抱きしめ」などの注がれる愛情も大切。

② 家庭で大切にしたいこと。

- ・情報機器、ゲーム機、ネット利用の約束をつくる。
- ・声がけ、「おはよう」「行ってらっしゃい」「ありがとう」「おかえり」など
- ・生活習慣を調える。食育(楽しい食事、よい作法)、睡眠時間の確保
- ・学校や相談窓口へは遠慮なく、お声をお掛けください。

3 臼田地区小学校の建設場所について議論を始めました。

(第6回臼田地区小学校施設整備検討委員会)



〔第6回検討委員会の様子〕

先月お知らせのように、学校の建設場所についての検討が始まりました。

現地建て替えの場合、田口小学校は国の史跡内にあるため困難、青沼、切原、臼田の各小学校が候補地、新たな場所の場合は、すでにこれまでの検討委員会や住民説明会でいくつか挙げられています。ただ、検討に当たり、「その観点、条件」をまず整理確認するところから始めてゆく予定です。

なお、ご意見等ありましたら、検討委員会事務局(佐久市教育委員会 学校教育課内)までご連絡ください。

4 「柳家さん喬&喬太郎落語親子会」が開催されました。

新佐久市誕生10周年記念、文化振興基金活用事業として、3月12日、コスモホールで開催されました。それぞれの古典落語と新作落語を巧みに演じ、会場一杯の参集者は磨き上げられた芸の深さと落語の魅力を十分に堪能させていただき至福の時をいただいたものです。